

12 月 29 日 : VN 指数は 4 日ぶりに反落

国家統計局が発表した経済指標に投資家が反応し、VN 指数は 4 日ぶりに反落した。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.57% 安の 1,485.82 ポイントで取引を終えた。同指数は直近 3 営業日で 2.6% 上昇していた。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.05% 安の 457.83 ポイントで取引を終えた。同指数は先週末から 3.5% 上昇していた。

第 4 四半期の国内総生産 (GDP) は前年同期比 5.22% の増加となった。しかし年間の成長率はここ 10 年間で低い水準の 2.58% にとどまった。ロックダウンが長引いたことで第 3 四半期の国内経済に影響を及ぼしたのが要因の一つとして挙げられる。

「第 4 四半期の経済指標は、投資家心理の改善につながるものになっていない。マーケットへの資金流入の勢いは前日ほど強いものでない」 (vietstock.vn の株式アナリスト デイリーレポートにて)

ホーチミン、ハノイの両市場では、売買高は合わせて 9 億 6,000 万株、売買代金は 28 兆 9,000 億ドン (13 億米ドル) となった。売買高、売買代金ともに前日と比べ 14% 減少した。

銀行セクターは総じて堅調で、下落したのは上場している 19 銘柄のうち 5 銘柄のみだった。そのうち 0.63% 安だったベトコムバンク (VCB) は値下がり寄与度でトップとなった。ホーチミン市場で時価総額トップ 3 である同銘柄の下げは、VN 指数の下落に影響を与えた。いヴィエティンバンク (CTG)、ベトナム国際銀行 (VIB)、VP バンク (VPB)、軍隊商業銀行 (MBB)、HD バンク (HDB) はプラス圏で推移し、マーケットを下支えた。

証券セクターも底堅い値動きとなった。SSI 証券 (SSI)、VN ダイレクト証券

(VND)、ホーチミン市証券 (HCM)、ベトキャピタル証券 (VCI)、ヴィエティンバンク証券 (CTS) はそれぞれ 1% 以上上昇した。

鉄鋼セクターも大きく買われた。ホアファットグループ（HPG）は 0.44% 高、ホアセンググループ（HSG）は 2.8% 高、ナムキム鉄鋼（NKG）は 4.3% 高とそれぞれ買われた。しかし（VIS）は 3.39% 安と下げた。

「通常年末に資金需要は高まり、銀行システムの流動性も他の時期と比べて高まるだろう。それと同時に株式市場では利益確定売りする企業、投資家が現れ、投資資金に影響を与えるだろう」（パッションインベストメントの代表、La Giang Trung 氏）

「だが世界、そしてベトナムの金融政策は一般には依然としてハト派の姿勢であり、金融引き締めを踏み出していない。そのため流動性の低下への懸念は株式市場の大きな問題でない」（同氏、tinnhanhchungkhoan.vn.にて）

「もし資金流入の勢いが弱まり、マーケットが下落するにしても、大きく売られすぎることはなく、2022 年に向けて株式を買い入れる投資家にとってはチャンスとなるだろう」（同氏）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。